



慣用句 4月第一回

月	日
名	前

1 次の文章の空欄①～⑤にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

ある日、ケンはおたがいのリョウとけんかをしてしまった。おたがいに

① まま、口をきかなくなっていた。でも、心の中では「リョウと

② 話したい」と思っていた。

そんなある日、先生が「ケン、リョウに ③ ほうがいいぞ」と声をかけてくれた。ケンは思いきってリョウに「ごめん」と伝えた。するとリョウも「こちらこそ、ごめん」と言ってくれて、ふたりは ④ ように仲直りした。

それから、おたがいに ⑤ ようになり、もっと仲良くなった。

ア 顔を立てた イ わだかまりがある ウ 腹を割って話す
エ 昔のように オ けろっとした

2 次の文章の空欄⑥～⑩にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

学級会で、クラスのルールを変えるかどうかを話し合うことになった。はじめはみんな、 ⑥ なかなか意見を言えなかった。でも、サトシが

⑦ 話しはじめたことで、空気が変わった。それから、みんなも

⑧ 話しはじめ、いろいろな考えが出てきた。

先生も「今日は本当に ⑨ 話し合いができたね」とうなずいた。そのあと、クラスみんなで決めたルールを ⑩ ことになった。

カ 実行に移す キ 口をつぐんで ク 腹を割って ケ 建設的な
コ 口火を切って



慣用句

4月第一回

日	月	名前

1

① イ わだかまりがある (「心にモヤモヤが残っている」という意味。けんかしたあとにピッタリの表現。)

② エ 昔のように (「前みたいに仲よく」という流れに合っている。)

③ ア 顔を立てた (「相手の立場を大切にしてあげる」という意味で、ここではリヨウが謝りやすくなるようにするという意味。)

④ オ けろっとした (「何もなかったかのように元気になる・ふつうに戻る」こと。)

⑤ ウ 腹を割って話す (「本音で話す」という意味。仲直り後にもっと仲良くなるきっかけになる。)

2

⑥ キ 口をつぐんで (「何も言わないで黙っている」という意味。最初の静かな様子に合っている。)

⑦ コ 口火を切って (「最初に話し始める」「きっかけをつくる」こと。サトシの行動がこれに当たる。)

⑧ ク 腹を割って (「本音で・正直に」話すという意味。みんなが本気で話し始めた場面にぴったり。)

⑨ ケ 建設的な (「前向きで、よい結果につながるような」という意味の話し合いに合っている。)

⑩ カ 実行に移す (「実際にやってみる」という意味。決めたルールを行